

# こんな社会に誰がした！

## 今の日本を根本から考える

アベノミクスは、大企業・お友達の利益優先をめざす金融・財政政策であり、まさに「1%対99%」という格差を生み出す政策です。

今、軍備増強のために、労働法制を改悪し、社会保障を後退させて、私たちの暮らしを崩壊の淵に追い込んでいます。

このような新自由主義が闊歩するなか、「資本論」が世界中で改めて評価されています。折しも、今年「資本論」刊行150周年にあたります。

資本論から、賃金とは何か、時間で計るのか・成果で量るのか、考えてみようではありませんか。暮らしを良くするには、どうしたらいいか、一緒に考えてみませんか。



働いても働いても暮らしは少しも良くなるらない

私たちの生活は崩壊寸前

とき：2017年9月23日(土) 14:00～16:00

ところ：栃木県労働者福祉センター7階会議室

宇都宮市中戸祭町821

講師：菅原修一さん（関東労働大学講師）

演題：「今の社会の現状と私たちの今後」

